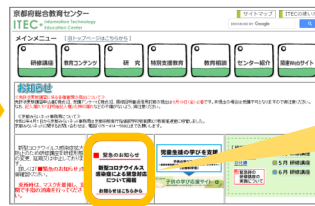


本年度実施の研修講座については新型コロナウイルス感染症の拡大防止に係る対応として、Web実施に代替、定員の調整、延期又は中止しています。京都府総合教育センターホームページ(ITEC)に、最新の情報を掲載しますので、御確認ください。

なお、玄関前にて検温した後に入館していただくため、30分以上前に来所されますと外でお待ちいただく場合があります。37.5度以上の発熱が認められた場合は、受講をお断りすることがあります。御了承ください。



Check!

緊急のお知らせ
新型コロナウイルス感染症による緊急対応について掲載
お知らせはこちら

9・10月講座 PICK UP

申込
期間

小・中・義務教育学校
7/13(月)～7/27(月)

府立学校
7/13(月)～7/31(金)

417 小中9年間で数学的な見方・考え方を育てる 授業づくり講座 ※申込については下記を参照

10月2日(金) 総合教育センター 定員60名
講師 文部科学省初等中等教育局 笠井健一 教科調査官
文部科学省初等中等教育局 水谷尚人 教科調査官

小中9年間を見通して数学的な見方・考え方を育てるための算数科・数学科の授業の在り方や教材研究の方策を学びます。

指標の対応: 学習指導・ステージ2(中堅期)

501 総合的な学習の時間・総合的な探究の時間講座 ―“つなぐ”をキーワードにして―

10月27日(火) 総合教育センター 定員80名
講師 國學院大学 田村学 教授

総合的な学習の時間及び総合的な探究の時間の在り方についての理解を深めるとともに、質の高い探究的、協働的な学習に向けての方策や創意工夫あふれる授業の展開について具体的に学びます。

指標の対応: 学習指導、専門領域・ステージ2(中堅期)

521 教職員のメンタルヘルス講座―ストレス マネジメント～QOLを高める技を学ぶ―

10月13日(火) 総合教育センター 定員80名
講師 鹿児島大学 名誉教授
花園大学 松木繁 教授

メンタルヘルスについて心理学的な知識・技能を学びます。アンガーマネジメント等の演習を通してストレス対処法を体験し、その活用方法について学びます。

指標の対応: 基本的資質能力・ステージ2(中堅期)

523 特別支援教育「児童生徒の気になる行動、 その理解と対応」講座

9月25日(金) 北部研修所 定員70名
講師 帝塚山大学 式部陽子 講師

児童生徒の気になる行動の見方やその行動に対する具体的対応について、講義・演習を通して学びます。
※特別支援教育コーディネーター養成講座の選択講座です。

指標の対応: 人権・ステージ2(中堅期)

※417講座は6月9日から延期した講座です。追加申込が可能ですので様式1を用いてお申し込みください。他の延期する講座の追加申込については、事前に担当部に確認の上、同様にお申し込みください。



令和2年度京都府教育委員会免許状更新講習受講に関する諸注意

免許状更新講習は一般の研修講座と異なる点があります。

右の諸注意を御確認ください。

- ・本人確認のため講座当日は「受講番号通知書」を必ず御持参ください。
- ・各講座の詳細は総合教育センターホームページ(ITEC)に掲載している実施要項で御確認ください。
- ・9時45分に出欠確認を行います。いかなる理由であっても遅刻の場合は免許状更新講習として受講できませんので、くれぐれも時間に余裕をもって御来所ください。
- ・公共交通機関を使用し、通常のセンター講座に準じた服装等で受講してください。
- ・災害等により免許状更新講習を中止した場合、予備日は設定しません。
- ・履修認定のための筆記試験を行います。合格の場合には「免許状更新講習履修証明書」を、不合格の場合にはその旨を、各講習終了の2箇月後を目処に文書にて送付します。



算数科・数学科の教材研究の在り方について理解し、**考える楽しさを味わうことができる授業づくり**について考え、指導力の向上を図ることを目的として、3回シリーズの研修講座の第1回目を実施しました。
センターの所員が3つの研究テーマを設定し、小学校教諭と中学校教諭が協働して研究を進めていきます。

研究テーマ

- つながる・つなげる 生活と算数・数学
- 小中接続9年間の数学的なつながり
- 一人一台端末時代の指導について



第1回目となる今回は、研究テーマに合わせて3つのグループを編成し、各先生方が日頃課題意識をもっている内容を交流し、研究計画を考えました。



なお、本年度は働き方改革の観点から、移動の負担を考慮し、第1回（6月）と第2回（8月）は南北それぞれの会場で実施しています。

受講者の感想から

児童生徒に算数と数学のつながりを持たせるためにも、授業の創り手が「つながり」を意識することが重要であると再確認した。本講座をきっかけに他校種の先生とも連携していけるようにしていきたい。



今年度も

「キャリア教育推進講座」を実施します。

将来展望を描き、その実現に向けて主体的に学ぶ児童生徒の育成を目指して、新学習指導要領において、キャリア教育の新たな方向性が示されました。「キャリア教育推進講座」では、キャリア教育について理解を深めるため、実施形態等の異なる2つのプログラムを用意しています。校内研修や各種研修会等で、是非御活用ください。



1 研修会として教職員への講義形式で学ぶプログラム

【実施形態】

校内研修、各市町・各ブロック毎の教頭会研修会、キャリア教育担当者研修会等において、教師力向上アドバイザーの講義を聴いて学びます。

【テーマ】

- ①「キャリア教育の現状と期待される効果」
- ②「キャリア・パスポートの効果的活用に向けて」
- ③「『効果のある学校』の取組から学ぶ教育の可能性」

【申込方法】

出前講座と同様の申込方法となります。詳細は「令和2年度 教職員研修計画」165ページを御参照ください。

2 児童生徒への指導場面を見て学ぶプログラム

【実施形態】

校内研修の一環として、児童生徒を対象に教師力向上アドバイザーが実際に指導する場面を見て教職員が学びます。
また、保護者向けの講話場面を見て学ぶプログラムについても相談に応じます。

【対象・テーマ】

- ①小学校6年生「中学生になる前に」
- ②中学校1年生「夢に向かっていいスタートを」
- ③中学校2年生「夢を叶える進路選択とは」
- ④中学校3年生「夢を手にするために」
- ⑤中学校全学年「中学校で身につけておきたい力」

【申込方法】

「キャリア教育推進講座実施申込書」を京都府総合教育センターホームページ（ITTEC）からダウンロードしてお申し込みください。なお、申込多数の場合は実施できない場合があります。

研究最前線

小中高の接続を意識した外国語による言語活動の具体

中学校学習指導要領では「小中高それぞれの現場において、必然性のある場面設定、即興的な言語使用の指導や**言語活動の工夫**等が求められている」と示されています。本研究では『**小中高の接続**』に**焦点化**して、より効果的な言語活動の具体について明らかにしていきます。

研究ポスターはこちら



※本研究は3ページ目に掲載しています。



1 目指す言語活動

- ・英語は用いているが、**考えや気持ちを伝え合う要素がない活動**
- ・日本語だけで情報を整理しながら考えなどを形成し**英語を全く用いていない活動**（初等教育資料 令和元年5月号 直山木綿子視学官）

・言語活動とは、実際に**英語を用いて互いの考えや気持ちを伝え合う活動**
（文部科学省 小学校外国語活動・外国語研修ガイドブックより抜粋）

2 言語活動に対する課題意識

各種研究会、校内授業、センター研修、出前講座等でみられた、現場教員の共通した課題意識を図示しました。

外国語活動 小外国語科 中外国語科 高外国語科

- ・「必然性」のある活動の設定
- ・ゲーム活動だけで終わらない授業づくり
- ・ゴールを見据えた単元計画
- ・ワークシート、ICTの活用
- ・言語活動と練習活動をわける
- ・相手意識を育てる工夫
- ・リテリング、サマリーの見直し
- ・オールイングリッシュの捉え方
- ・暗記、パターンプラクティスからの脱却
- ・思考を伴う活動の工夫
- ・「話す」→「書く」へ